

ウィーン少年合唱団

初来日から70年 心に響く天使の歌声

カペルマイスター(指揮・ピアノ): マヌエル・フーバー Kapellmeister: Manuel Huber



Wiener Sängerknaben

2025 5/31(土) 2:00pm開演 (1:00pm開場)

ザ・シンフォニーホール

[アクセス] JR大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約7分

A 6,500円 B 5,000円 C 3,000円
(全席指定/消費税込)

1/24(金)
ABCぴあ
優先予約受付開始

1/26(日)
一般発売

プログラム A “ぼくたちの地球 そして未来へ”

ヨハン・シュトラウスII:ワルツ《美しく青きドナウ》
メンデルスゾーン:オラトリオ「エリヤ」より《目をあげよ》
岡野貞一:ふるさと
ファンパーディング:オペラ「ヘンゼルとグレーテル」より《夕への祈り》
バンキエーリ:3声のためのカプリース、動物たちの対位法
ロイド・ウェバー:ミュージカル「キャッツ」より《ジェニエニドッツ》
ニュージーランド民謡:ロバに乗りながら などを予定

ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [火曜定休]
<https://www.symphonyhall.jp>

2025 6/1(日) 2:00pm開演 (1:15pm開場)

兵庫県立芸術文化センター
KOBELCO 大ホール

[アクセス] 阪急西宮北口駅南改札口すぐ/
JR西宮駅から徒歩15分(阪急バス7分)

A 6,500円 B 5,000円 C 3,000円(全席指定/消費税込)

2/14(金)あさ10時より
ABCぴあ/兵庫県立芸術文化センター会員
先行予約受付開始

2/16(日)あさ10時より
各プレイガイドで一般発売

プログラム B “生誕200年記念 シュトラウス・フォー・エバー!”

ヨハン・シュトラウスII:ワルツ《美しく青きドナウ》
皇帝円舞曲
ヨーゼフ・シュトラウス:ホルカ・シュネル《永遠に》
ヨハン・シュトラウス:ラデツキー行進曲
ジーツィンスキー:ウィーンわが夢の街
岡野貞一:ふるさと などを予定

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
[10:00~17:00]月曜定休※祝日の場合翌日
兵庫県立芸術文化センター 検索 <https://www.gcenter-hyogo.jp>
※窓口販売は2/18(火)より開始(残席がある場合のみ)

ご予約

- チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
[Pコード (5/31 大阪公演):286-557]
[Pコード (6/1 兵庫公演):286-568]
- ローソンチケット <https://l-tike.com/>
[Lコード (5/31 大阪公演):54377]
[Lコード (6/1 兵庫公演):56566]
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ 検索 携帯サイトはこちら▶▶▶
<http://abc-ticket.pia.jp/>
座席選択が可能! 24時間購入できる!
クレジット決済も可能!!
メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!



ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

※未就学児童のご入場はお断りいたします。
※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

～初来日から70年。2025年はモーツァルト組が来日!～

かの作曲家シューベルトも在籍したウィーン少年合唱団。その歴史は525年以上になります。今回のウィーン少年合唱団日本ツアーでは、初登場となるカペルマイスター、マヌエル・フーバー氏(指揮・ピアノ)が、この“神童”の名を冠したグループをリードします。プログラムには、ウィーンが誇るシュトラウス一家の輝かしい傑作、オペレッタや有名ミュージカルのナンバー、民謡まで、豊かな光を放つ旋律が溢れています!

ウィーン少年合唱団の初来日は1955年。以来、日本で公演を重ね、その人気は不動です。初来日から70年という節目にあたる2025年に、巨匠指揮者トスカニーニが“天使の声”と呼んだ清らかなウィーンの調べをお楽しみください!



©www.lukasbeck.com

Wiener Sängerknaben

ウィーンの象徴、音楽大使として世界中の人々の心を癒す天使たち

ウィーン少年合唱団の創立は1498年(日本では戦国時代の明応7年)、皇帝マクシミリアン1世により宮廷音楽隊で歌う6名の少年が集められたことに始まり、ウィーン宮廷音楽礼拝堂、宮廷少年合唱団、そしてウィーン少年合唱団の基礎となる。巨匠トスカニーニが彼らのコーラスを評して《天使の歌声》と命名したことで有名。世界の数ある少年(少女)合唱団の中でも抜群の人気と実力を誇り、9歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿で生活している。ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーとウィーン少年合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれ、ヨーロッパ各国、アメリカ、アジア、オセアニアなど世界中のコンサートに出演。本拠

地ウィーンでもウィーン国立歌劇場やフォルクスオーパー、ザルツブルク音楽祭やウィーン・フィルのニューイヤーコンサートへの出演を重ね、ウィーンを代表する団体のひとつとして活躍している。また、宮廷礼拝堂のミサで歌うことは今も昔もウィーン少年合唱団の使命とされている。2017年にオーストリアのUNESCO無形文化遺産に登録され、2024年には芸術的および社会的に傑出した業績を残した団体や著名人に贈られる欧州で最も重要な賞のひとつ『ヨーロッパ文化賞』をウィーン少女合唱団と共同で受賞した。2025年はモーツァルト組(カペルマイスター:マヌエル・フーバー)が来日。



カペルマイスター(指揮・ピアノ)
マヌエル・フーバー



©www.lukasbeck.com